

カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)

専門科目(カウンセリング科学学位プログラム_博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBTD101	カウンセリング科学基礎論	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する文献検索能力を養い、担当教員の専門領域の最新知識および研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画の策定を行う。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・オンライン(同時双方向型)
OBTD102	カウンセリング科学演習I	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進める。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・オンライン(同時双方向型)
OBTD103	カウンセリング科学演習II	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進め、論文作成の基礎を学習する。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・オンライン(同時双方向型)
OBTD104	カウンセリング科学特論I	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの収集法を学ぶ。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・オンライン(同時双方向型)
OBTD105	カウンセリング科学特論II	2	1.0	3	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの解析法を学ぶ。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・オンライン(同時双方向型)
OBTD106	カウンセリング科学特論III	2	1.0	3	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの分析法を学び、論文構成に関して検討する。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・対面(オンライン併用型)
OBTD202	組織メンタルヘルス特論	2	1.0	1-3	通年	随時	大塚 泰正	目的・ねらい:組織メンタルヘルス領域における、文献検索能力の開発、専門領域の最新知識および方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文化を目的とする。 授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、組織メンタルヘルスに係わる諸研究について、先行研究相互の関連性や相違点を明確化し、研究計画の策定に応用していく。具体的には、論文の輪講、グループ討議を実施する。 キーワード:文献レビュー、投稿論文作成	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。・対面

OBTD203	対人社会心理学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	藤 桂	目的・ねらい:社会心理学の観点から、個人レベル・対人レベル・集団レベル・コミュニティレベルの心理的過程について理論的・実証的に分析するための技術を身につけ、研究成果の論文文化を目的とする。そして、現場の問題に対してどのような支援・援助が可能かを見出していく。 授業概要:各自の研究関心をベースとして、社会心理学領域における諸問題に着目し、先行研究をレビューし独自の観点から整理する。そのうえで、従来にはないアプローチに基づく研究計画を立案し、データ収集、データ解析、先行研究との照合に基づく考察のプロセスをゼミ形式によって進行させ、各自のテーマの論文文化を目指す。 キーワード:文献レビュー、投稿論文作成	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・オンライン(同時双方向型)
OBTD204	キャリア形成特論I	1	1.0	1 - 3				目的・ねらい:カウンセリング科学の方法に関して、英文での論文作成法、文献研究、質的方法、統計的方法等に関する基本を復習・修得し、博士後期課程にふさわしいアドバンスドコース用の技術・能力の向上を図る。	西暦偶数年度開講。 ・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・対面
OBTD205	キャリア形成特論II	1	1.0	1 - 3	秋B	集中	大塚 泰正, 藤 桂, 尾野 裕美	目的・ねらい:カウンセリング科学の方法に関して、英文での論文作成法、文献研究、質的方法、統計的方法等に関して、博士後期課程にふさわしいアドバンスドコース用の技術・能力を獲得・実力アップを図る。 授業概要:各自の研究テーマと関連付けながら、上記の方法に関して一つのテーマについて、具体例を受講者から提出してもらい、それをもとに講義・授業を進める。	西暦奇数年度開講。 ・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・対面
OBTD206	カウンセリング科学特別演習I	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析に関する論文指導を行う。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・対面
OBTD207	カウンセリング科学特別演習II	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析結果の考察に関する論文指導を行う。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・対面
OBTD208	カウンセリング科学特別演習III	2	1.0	3	通年	随時	カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:カウンセリングに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって論文執筆、まとめに関する論文指導を行う。	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。・対面
OBTD209	カウンセリング科学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	藤生 英行	目的・ねらい:カウンセリング科学領域における、文献検索スキルの熟達、専門領域の最新知識および最新の統計解析を含めた研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文文化を目的とする。 授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、カウンセリング科学に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画の策定を行う。具体的には、研究計画を設定・実施し、その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して、ドラフト論文を作成する。 キーワード:文献レビュー、投稿論文作成	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・対面
OBTD210	学校生活支援カウンセリング特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	飯田 順子	目的・ねらい:学校生活支援カウンセリング領域における、文献検索能力の向上、専門領域の最新知識 および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文文化を目的とする。 授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、学校生活支援カウンセリング領域における諸問題について、先行研究相互の関連性や相違点を明確化し、研究計画の策定を行う。具体的には、論文の輪講、グループ討議を実施し、ドラフト論文を作成する。 キーワード:文献レビュー、投稿論文作成	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生に限る。・対面

OBTD211	産業・組織心理学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	尾野 裕美	<p>目的・ねらい:産業組織心理学領域における、文献検索能力の開発、専門領域の最新知識および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文文化を目的とする。</p> <p>授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、人の生涯発達に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画の策定を行う。具体的には、研究計画を設定・実施し、その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して、ドラフト論文を作成する。</p> <p>キーワード:文献レビュー、投稿論文作成</p>	2023年度まで開設の「生涯発達心理学特論 (Special Lecture on Lifespan Developmental Psychology)」と同じ ・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面
OBTD215	家族発達援助特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	安藤 智子	<p>目的・ねらい:子どもの発達や養育者の養育行動、家族の精神的健康の子どもへの影響などについて、英語論文・文献講読を通して、体系的に、また最新の知見を整理することを目的とする。</p> <p>授業概要:各自の研究テーマに関する知見を、英語論文・文献の講読、討論を通して整理する。担当した論文については、レビューを作成し、その研究内容や研究方法、分析方法などを学び、討論を行う。これらの作業を通して、自らの研究の位置づけや方法論について検討する。</p> <p>キーワード:英語論文レビュー、文献講読</p>	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面
OBTD216	精神健康科学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	原田 隆之	<p>目的・ねらい:メンタルヘルス領域の諸問題について、理論的・実証的に分析するための技術を身につけ、研究成果の論文文化を目的とする。そして、現場の問題に対してどのような支援・援助が可能かを見出していく。</p> <p>授業概要:各自の研究関心をベースとして、メンタルヘルス領域における諸問題に着目し、内外の先行研究をレビューし独自の観点から整理する。そのうえで、従来にはないアプローチに基づく研究計画を立案し、データ収集、データ解析、先行研究との照合に基づく考察のプロセスをゼミ形式によって進行させ、各自のテーマの論文文化を目指す。</p> <p>キーワード:文献レビュー、投稿論文作成</p>	・受講は、カウンセリング科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面